（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬・山とスキーの歴史、伝統、文化継承事業
事業主体 （連絡先）	一般財団法人 八方振興会 北安曇郡白馬村八方
事業区分	（３）教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,518,200 円（うち支援金：1,153,000 円）

事業内容

白馬・山とスキーの総合資料館」来館者向け及び来館誘致に使用するための「資料館解説資料・しおり」（成人向け・小学生用の２種類）の制作。

寄贈を受けた山とスキーに関する書籍、資料等を整理、保存、閲覧に供するための書架増設。

上記二事業の実施は「白馬・山とスキーの歴史、文化継承」のために不可欠な事業であり、二事業を補完すべく、白馬小学校による資料館での課外学習、白馬中学校のボランティアによる資料整理、村民デーによる資料館一般開放などを実施いたしました。



【白馬北小学校課外学習】

【目標・ねらい】

① 解説資料・しおりの作成
② しおりの効果的活用
③ 書架の増設　書籍・資料整理
④ 校外学習　村民デー　開催

事業効果

「資料館解説資料・しおり」（成人向け・小学生用の２種類）の制作。については完成が年度末に近い時期であるため、実質的な活用は次年度以降になりますが、白馬村教育委員会や白馬北小学校等での高評価も得られ、今後の活用と効果に大きな期待が寄せられています。来館者の理解を深めるツールとして、村民の歴史を振り返る資料として役立っています。

寄贈を受けた山とスキーに関する書籍、資料等を整理、保存、閲覧に供するための書架増設は資料活用の利便性が高まり、評判も良く、大きな効果が得られています。

※自己評価【　B　】

【理由】
「しおり」は想定以上の出来栄え。
書架増設は停滞していた集積書籍資料の整理を促進し、今後の整理保存作業の下地が整えられた。
イベントが不十分でした。

今後の取り組み

「資料。しおり」については、初版ということもあり内容については今後も改訂を続けていかなければなりません。白馬の歴史を振り返り、今の白馬を考え、未来見つめるとき、少しでも役立つ内容に改訂していきたいと思います。

図書室にも多くの解決すべき課題が残されています。

書籍、雑誌、資料の適切な管理方法。データ化。などです。時間を要しそうですが取り組む体制を整え継続した取り組みを構築していきます。

令和６年度に計画しながら実施できなかったイベントもありましたが、取り組んだ事業は互いに相乗効果が期待でき、今後も継続的に「歴史、伝統、文化継承の事業」を育てて参ります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある